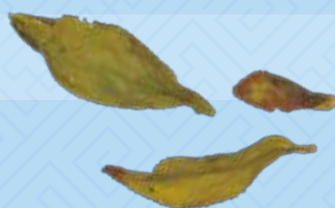


ふじのくに
茶の都ミュージアム

企画展

「華やぐ香りの世界」

ウーロン茶の魅力発見



令和4年

3月5日(土)

—

6月20日(月)

【開館時間】 9:00～17:00(入場は16:30まで)

【休館日】 毎週火曜日(5月3日は開館)

【観覧料(常設展・企画展共通)】 大人(15歳以上)300円、学生 無料

※学生・70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、身分証明書のご提示で無料になります。

【協力】 王亜雷氏、長田幸子氏、勝又綾子氏、株式会社伊藤園、カワサキ機工株式会社、沢田工業株式会社、静岡県農林技術研究所茶業研究センター、一言進氏、村松二六氏ほか(敬称略、五十音順)



ふじのくに茶の都ミュージアム

企画展

ウーロン茶の魅力発見 ～華やぐ香りの世界～



写真提供：王亜雷氏

近年、香りに特徴あるお茶が注目を集めています。古くから中国や台湾などでは、茶葉を屋外や室内でしおれさせる「萎凋^{いちよう}」という技術を使い、香りの強いお茶を製造してきました。特にウーロン茶(半発酵茶)は、香りを楽しむための茶器が考案されるなど独特の茶文化を形成しています。

一方、多様化する消費者ニーズに応えるため、国内においてもウーロン茶などに取り組む生産者がみられ、静岡県では「香り緑茶」を開発し、普及に向けた試みが行われています。

本展では、ウーロン茶をはじめとする生葉の萎凋による香りの変化を生かした茶に注目し、紹介します。

I

ウーロン茶の特徴

- ・緑茶、紅茶との違い(色・香り)
- ・香りの特徴
- ※香りの違いを体験できます

II

ウーロン茶の歴史

- ・ウーロン茶の始まり
- ・日本での生産・消費

III

ウーロン茶の製造工程

- ・製造工程の紹介(映像など)
- ・製茶機械の展示

IV

ウーロン茶の種類

- ・中国、台湾の産地、茶種
- ・日本国内のウーロン茶生産

V

ウーロン茶を楽しむ

- ・ウーロン茶を楽しむ喫茶道具
- ・ウーロン茶の工夫茶芸(映像など)

VI

ウーロン茶のような香りの新たな緑茶

- ・香りが出やすい品種
- ・「香り緑茶」の取組



深蒸し煎茶(日本)

文山包種(台湾)

鳳凰単樺黄枝香(中国)



大紅袍(中国)

アッサム紅茶(インド)



関連イベント

A 味わって楽しむウーロン茶セミナー

中国茶喫茶を営んだ経験を持つ講師と一緒に、お茶会気分ウーロン茶(中国・台湾産に加えて国産も!)を実際に味わいながら、代表的な種類、選び方、いれ方などの基礎知識を楽しく学びます。

日時 令和4年5月15日(日)
①10:30～12:00 ②14:00～15:30

場所 博物館1階多目的ホール

講師 中国茶認定茶藝技師・日本茶インストラクター 勝又綾子氏

定員 各回先着20名(事前予約制、3月1日～受付開始)

体験料 500円(会期中の観覧券が必要です)

対象 中学生以上

※定員に達し次第、受付を終了いたします。



※写真はイメージです。

B ギャラリートーク

学芸課職員による企画展の展示解説を開催します。

日時 令和4年3月27日(日)、5月22日(日)
各日10:30～11:00、13:30～14:00

場所 博物館2階企画展示室

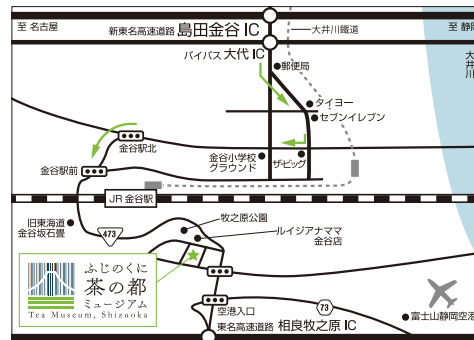
定員 10名程度(当日先着順)
※総合案内で整理券を配布します。

参加料 無料(当日の観覧券が必要です)

※当日、総合案内にて観覧券をご購入の上、企画展示室前へお集まりください。

交通案内

- ・JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- ・新東名高速道路：島田金谷ICより約13分
- ・東名高速道路：相良牧之原ICより約10分
- ・国道1号線：大代ICより約10分



〒428-0034

静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2

TEL: 0547-46-5588 / FAX: 0547-46-5007

HP: <https://tea-museum.jp>

予約方法 ふじのくに電子申請サービス又はFAXにてお申し込みください。

ふじのくに
電子申請サービス

二次元コードからアクセス



FAX

FAX: 0547-46-5007

件名「ウーロン茶セミナー」とし、本文へ①氏名(全ての参加者)、
②電話番号・FAX番号、③参加希望時間を記入の上、送信してください。(一度に4人まで申込み可)

※お預かりした個人情報はこのイベント以外に使用しません。

※1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。

※内容は変更になることがありますので、詳細はHPでご確認ください。